

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

**研究課題名：** 網膜脈絡膜疾患の病態解明及び治療成績の検討

### 研究の目的

網膜静脈閉塞症や加齢性黄斑変性などの網膜や脈絡膜の疾患は、光干渉断層計（OCT）の普及によって、形態学的に診断する方法は進んでいますが、血流状態の評価や網膜機能の評価など、複合的に疾患を捉え、有効な治療法を導き出す手法については、まだ十分に確立されているとは言えません。そのため、マルチモーダル・イメージング（複合的な画像診断）などの手法を活用し、診断・治療の結果から、遡及的にその検証を行う必要があると考えられましたので、本研究の目的とします。

本研究で得られた結果により、網膜疾患や脈絡膜疾患の難治例に対する診断法や治療法を改良し、また、その視力予後を推測します。また、疾患によって引き起こされる合併症や、治療法による副作用などを明らかにすることで、症例に対する最良の診断法及び治療法に繋がれるという意義は大きいと考えられます。

**研究実施期間：** 年 月 日～2028年12月31日

**対象となる方：** 2012年1月1日から2027年12月31日の期間に、弘前大学医学部附属病院眼科において、診断・治療についての同意が得られ、治療または経過観察を行なった症例などを対象とします。

### 利用させていただきたい試料・情報について

**（他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む）**

当院のカルテに記録されている情報のうち、全身疾患、眼所見、術式や合併症、視力などの予後について標記研究課題実施のために利用します。

具体的には、当科で診断・治療をするに至った背景や、難治例である場合には合併症の発生率が通常の症例より高いのかという点、その後の経過などに特徴的な傾向があるのかという点などを明らかにしたいと思います。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデー

タのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

<b>本件連絡先</b>	眼科・鈴木幸彦 電話番号 0172-39-5274/mail: yukihiko@hirosaki-u.ac.jp
--------------	---